

H30 年度 事業所自己評価表 【常勤】 (H31 年 1 月実施)

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	分か らな い	改善目標、工夫している点等
環境・ 体制 整備	①	指導訓練室等スペースは十分であるか	2	1		1	
	②	職員の配置数は過多または過少ではないか		3		1	単に人数だけでなくその日の利用者状態・職員のスキルにもよるため、個々の職員のスキルアップが大事。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされているか		2		2	段差がないわけではないが、車椅子・バギーには対応している。誰にとってもバリアフリーとは言えない。まだ配慮を要する所もある。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定の振り返り）に、広く職員が参画しているか		4			常勤のみのミーティング→パート職員へ伝達はしているが、定期的に全職員でのミーティングもやっていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	3	1			
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4			他事業所の方に現場の実践を見てもらったり、個別の児童について、相談に乗ってもらうこともあるが、「評価」はいただいていない。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				テーマに応じ、研修や勉強会に積極的に参加させている。(出勤扱い・費用会社負担)。 参加職員は、レポートを作成し、全職員に回覧している。
適切な 支援の 提供	⑧	アセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	4				職員からの意見や情報収集のうえ、様々な視点で考え計画を立てるようにしている。 利用者の 98% が相談支援を利用しているので、サービス利用計画をもとに本人・保護者ニーズを組み込んでいる。
	⑨	子どもの適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3		1	
	⑩	活動プログラム立案をチームで行っているか		4			輪番で担当が他職員と相談しながら決めている。

	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		子どもによってはある程度固定化した方が良い場合もあるので、個々に応じてプログラムを組んでいる。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	4			デイにいる時間や季節もそれぞれ違うので、もちろん。常勤が計画を立て、パート職員・利用者にも見通しを持って活動できるよう配慮している。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	⑭	支援開始前には、その日行われる支援の内容や役割分担について職員間で確認しているか	1	3		どの児童のどの活動までは誰が担当する程度は決めて分かるようにしているが、一番大事な支援の目標・目的の詳細までは全員が確認しきれていない。
	⑮	支援終了後には、その日の支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員が共有しているか	1	3		常勤は当日できているが、パート職員は翌日以降の昼礼で伝達するようにはしている。
	⑯	日々実際に行った支援の記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	4			単に「したことの報告」ではなく、どのような場面でどのように関わり、その結果がどうだったかが分かるように記録するように心がけている。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画見直しの必要性を判断しているか	3	1		職員全員でのモニタリング会議はしていないので、全員でできる機会を設けたい。
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所サービス担当者会議に参画しているか	4			
	⑲	学校の情報（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）共有を十分に行っているか	1	3		学校迎え時に先生からの申し送りを受けたり、こちらから気になることを聞いたりしているが十分ではないので、連携強化をしたい。
	㉑	医療的ケア、食物アレルギー等のある子ども受け入れる場合は、子どもの主治医との連絡体制を整え、指示書に基づき対応しているか	4			

	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有に努めているか		1	2	1	特に必要と思われる子どもに限っている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	2	1		1	相手先からの問い合わせ等があった場合のみに限っている。
	㉓	児童発達支援センター等の専門機関による助言や研修を受けているか	2			2	研修がある際には参加している。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4		保護者が望まない場合や、まずは学校との協力的な連携ができていないと難しい。(損害保険等の諸問題等)
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4				
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2			送迎時や、メール・電話等その日の様子や気になること、自宅での様子や保護者の不安等の聞き取りなど、やり取りしている。 「共通」理解ができているかどうかの確認作業も必要。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し、家庭での支援方法等の助言を行っているか	1	2	1		全ての保護者に対してはできていない。
保護者への説明責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				
	㉙	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に応じ、必要な助言、支援を行っているか	3	1			
	㉚	保護者の会等の団体活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4		特別支援学校の生徒ばかりのため、地域の中での繋がりがあまりない傾向にあり、また、就労している保護者も多く、なかなか交流の場を設けることが難しいのが現実かもしれないが、何かピア交流が図れるようなことを考えていきたい。

	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1		1	苦情対応でトラブルになったことはないが、万が一のことも考えて、第三者委員も選任し、苦情解決の体制は整えている。
	㉒	定期的に会報などを発行し、活動内容や行事予定、連絡体制などの情報を、子どもや保護者に対し発信しているか	4				
	㉓	個人情報に十分配慮しているか	2	1		1	
	㉔	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			3	1	
非常時 等の 対応	㉕	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	1		事業所内には置いているが、保護者への周知はできていない。
	㉖	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				
	㉗	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	3	1			
	㉘	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか		1	1	2	児童の状態により、その対応としてどの行為が身体拘束に当たるか、その判断が難しいが、該当しそうな児童・場面のリストアップをし、身体拘束になるかどうか第三者の意見も聞きながら精査をしていく。
	㉙	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	4				